

FLC学びのエリア

<志村四中・志村坂下小・北前野小・緑小・志村小>



令和8年3月2日

板橋区立志村小学校

校長 佐久間 康弘

3月号

志村小ホームページ

学校スローガン「みんなが笑顔」

<http://www.ita.ed.jp/edu/simuraes/>

保護者アンケート結果と板橋区の教育について

校長 佐久間康弘

先日、板橋区教育委員会より令和8年度から10年間にわたる教育ビジョン「未来スクールいたばし」が発表されました。下記の枠の中が実施していく内容ですので、志村小学校の教育課程の中で具現化するよう実践していきます。

保護者アンケートについて、いろいろなご意見をいただきありがとうございました。気にかけていただいている3つのご意見に回答いたします。

一つ目は、「学力を下げないために授業時数を増やしてほしい」とありました。これはOECDの国際学力調査で、授業時間が長い国ほど学力が高いわけではなく、授業の質が高い国ほど学力が高いことが示されています。日本の小学校は、文部科学省が定める学習指導要領の標準授業時数に基づいて教育を行っています。この標準時数は、「この時間を確実に質の高い授業で行えば、全国どこでも必要な学力が身に付く」とし、全国の実証研究や教育データを基に設計されています。

志村小学校では、過去に標準時数より多く設定されていたことから授業時数を減らした経緯があります。それでも標準時数より9時間から16時間ほど多く設定しておりますが、これからも子供たちの主体性や自律性を育て自己調整力を高めていく質の高い授業を目指すよう努力してまいります。

二つ目は、「土曜日授業を減らしてほしい」との意見です。これは月曜日が振替休日となっていることからと思います。校内でも検討しましたが、来年度も今年度と同じ回数の土曜日授業の実施を計画しました。理由としましては、6月は地域の綱引き大会と連携して実施、7月は夏祭りとの連携、11月は泰山木祭りと連携しております。そのため令和8年度も今年度と同じ回数としました。令和9年度の土曜日授業の実施につきまして、継続してPTAの皆様と意見交換して検討していきます。

三つ目は、「マラソン大会をなくしてほしい」との意見です。マラソン自体は文科省が示している学習指導要領には入っていない内容ですので、その結果、マラソン大会を実施していない学校は多くあります。しかしながら、志村小学校が歴史が古く、地域からは伝統的なマラソン大会をなくさないでほしいとの要望が強くあります。一方で、大会当日の安全管理の面でお願いするボランティアの方が集まりにくい状況もあります。マラソン大会については幅広くご意見を聞き検討していきたいと思

います。その他、保護者アンケートの集計結果は右記の2次元コードからアクセスしてご覧ください。

本年度、保護者・地域の皆様の温かなご支援とご協力により、子供たちは大きく成長することができました。心より感謝申し上げます。来年度も子供たちの健やかな成長のためにご理解とご協力をお願い申し上げます。



板橋区の令和8年度から10年間の板橋区教育施策

～児童生徒の個に応じた教育～

「能動的な学び」で自己肯定感へ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実

イェナプラン教育の要素を取り入れた教育（自律と共生）

自己選択型の学びの重視、生活面にも自己選択の場面を広げる（例：校則の見直しを高める）

児童生徒が自分たちで考えて行動する特別活動の重視

※ 多様な学びを保障（授業スタンダードSタイプで授業革新）

「授業スタンダードSタイプ」とは、

個別最適な学び+協働的な学び（一体的な充実）、児童生徒の主体的な学びを促す

「学びのリモコン」を児童自身が持つ、児童生徒の自己選択（Self+Select）による学習

→学習内容、学習方法、進捗等、先生もこの方法を選択できる（Select）

